

# 節電意識を行動に

## 市政モニター アンケート 検討会で課題示す

富士宮市はこのほど、「家庭の電力」をテーマとした本年度第1回市政モニターアンケートの結果をまとめた。担当各課による検討会で意見を集約し「節電意識はあるものの、耳慣れない用語が行動を阻んでいる」と分析。「エネルギーに関する分りやすい説明によって、意識を行動につなげることが重要」との課題を示した。

温室効果ガスの削減や再生可能エネルギー導入など、地球温暖化対策の推進に役立てるため、家庭の電力に焦点を当てた。設問は電気料金、地球温暖化対策、創エネ・蓄エネ機器、電力自由化などに

関する計12項目で、取り組みや考えなどを聞いた。モニター50人全員が回答した。

家庭の電気料金では90%が「把握している」、家庭の電気料金を安くすることについては94%が関心がある。電力自由化では74%が「関心がある」と答えるなど、節電に対する意識の高さを示した。

創エネ・蓄エネ機器では、設置費用の一部を補助する市の制度について「知っていた」が52%。設置率は太陽光発電が16%、自宅をつくった電気を貯める蓄電池が4%、発電時に熱湯を沸かすエネファームやエコウィルが12%、電気自動車とそれを使った蓄電システムが2%となった。それぞれに「設置していないが将来的に導入したい」と回答した。

検討会では自由意見を中心に市民ニーズを把握し、課題などをまとめた。

家庭の電気料金については「エネルギー機器や電力自由化、ピークシフトといった用語の難解さから、壁が高く感じる」「結局行動に移さない」という趣旨の意見が目立った。この現状から、意識を行動へつなげることの重要性を確認した。

方策としては、家庭で電力を考慮する場面が、新築時やリフォーム時など、住宅の更新時が最も多いことから「特にこのようなタイミングの人の対象に、公平な立場から、分かりやすく説明することが、最も効果的に行動に結びつく」とした。節電以外に子供の教育や災害時の電力確保といった観点からの普及策の有効性も挙げた。

実行委員会が主催し、認知症になっても安心して暮らせるまちを全国に広げようと、各地の同クラブ事務局、医療機関、介護施設、企業、行政などが力を合わせて実施している。平成23年に始まり、年々規模を拡大。昨年は約1万5000人が参加した。今年は北海道から沖縄県までと台湾のルートで、7月から11月まで実施している。

# RUN伴 きょう富士宮

## 認知症支援の拡大へ

認知症当事者や家族支援者、一般の人たちが一つのたすきをつないで日本を縦断するイベント「RUN伴」(ラントム)2018が、きょう21日、富士宮市のルートで行われる。

ランナーは、認知症サポーターのシンボルカラーとなっているオレンジ色のTシャツを着て走る。見かけたらオレンジ色のものを振って「一緒に走ってほしい」と呼びかけている。

認知症フレンドシップクラブなどで組織する実行委員会が主催し、認知症になっても安心して暮らせるまちを全国に広げようと、各地の同クラブ事務局、医療機関、介護施設、企業、行政などが力を合わせて実施している。平成23年に始まり、年々規模を拡大。昨年は約1万5000人が参加した。今年は北海道から沖縄県までと台湾のルートで、7月から11月まで実施している。

富士宮チームのメンバーは「ありがとうみんなであつたよ、みんなであつたよ、みんなであつたよ」と、きょう21日、富士宮市のルートで行われる。

ランナーは、認知症サポーターのシンボルカラーとなっているオレンジ色のTシャツを着て走る。見かけたらオレンジ色のものを振って「一緒に走ってほしい」と呼びかけている。

認知症フレンドシップクラブなどで組織する実行委員会が主催し、認知症になっても安心して暮らせるまちを全国に広げようと、各地の同クラブ事務局、医療機関、介護施設、企業、行政などが力を合わせて実施している。平成23年に始まり、年々規模を拡大。昨年は約1万5000人が参加した。今年は北海道から沖縄県までと台湾のルートで、7月から11月まで実施している。

# 特産品、食や音楽が集結

## 23日に祭り 浅間大社や商店街

富士宮市の特産品や名物が集まる「ふじのみや門前市祭りと特産品フェア」が23日(日)、富士山本宮浅間大社駐車場で開かれる。同時に周辺の大社通り商店街で「第6回宮町商店街」西町商店街で「西町まちかど音楽祭」が、西町まちかど音楽祭と「我楽多市」があり、通りを歩行者天国にして「ふじのみや」名物コンペ」の受賞団体も

出店予定。近江八幡市との夫婦都市50周年を記念し、近江八幡観光物産協会が特別参加し、近江牛などを販売する(宮まつり会場)。

宮町まつりは大社通り宮町商店街と実行委員会が主催。午前10時〜午後4時。秋を食べ、ふじのみや名物コンペ」の受賞団体も

心とした出店が集結し、音楽演奏も行われる。

西町まちかど音楽祭&我楽多市は、実行委員会主催で西町商店街振興組合とNPO法人まちづくりトップランナー「ふじのみや本舗」が共催。午前10時〜午後4時。音楽コンサート、フリーマーケット、飲食ブース、オープンカフェで来場者を楽しませる。

ここに「富士山」をデザインした缶バッジ、キーホルダー、マグネットのいずれか一つを進呈する。問い合わせは事務局長の時田定則さん(090901500815439)。

中継スポットは富士根北小中、かたくりの里、ウエルシア栗倉店、ファミリア、富士宮万野原店、みゆきの苑、セブンイレブン富士宮宮原店、ファミリア、三井住友銀行、宮のにぎわい広場、大宮小、増田屋本店、市役所、富士館高、東静クリニック。

# 高校生ボランティアアワード

## 2団体が成果を報告

地道な奉仕活動を実践する全国高校生の発表交流の場となる「高校生ボランティアアワード2018」に参加した富士宮高農業クラブ野菜班と富士宮高学生会が、このほど、市役所で須藤秀忠市長を表敬訪問し、成果を報告した。

同アワードは8月に東京国際フォーラム(東京都千代田区)で行われ、150を超す応募の中から選ばれた



須藤市長を表敬訪問した高校生ら(提供写真)

84団体が表彰された。富士宮高学生会は「富士宮の高校生による活性化モデルを全国へ」30年度の主な活動報告、望月美那さん作「ここに富士山」を「全国へ」と題し、日本全体を高校生の元気で活性化したいという同会議所設立の経緯に加え、望月さんによる富士山のデザイン画を地域に広める最新の活動を発表した。

野菜班は「特産物育成で富士宮に活力を!」をテーマに、地域特産の「富士山麓落花生」を活用し、農家や企業と関わりを持ちながら地域を活性化させる取り組みを紹介し、大きな関心を集めた。

あす高校生地域研究発表会 西町レトロ館で 富士宮高学生会所による地域活性化イベント「第3回高校生地域研究発表会」が、あす22日午後2時から富士宮市西町の西町レトロ館で開かれる。

市立病院で健康講座 きょう動脈硬化をテーマに

富士宮市錦町の市立病院できょう21日午後6時半〜8時、第100回市民健康講座が開かれる。テーマは「動脈硬化について」。血管の老化を防ぐこと、大動脈瘤(りゅう)、手

まちのために ひとのために  
特級認定代理店  
**(株)佐野保険事務所**  
代表取締役社長 佐野力也  
富士宮市宝町15-14  
☎(0544) 24-0888 FAX.(0544) 24-8614  
http://www.sjnk-ag.com/a/sanohoken

~安全をつなげて広げて 事故ゼロへ~  
**秋の全国交通安全運動**  
9/21(金)~9/30(日)  
9/21(金) 運動初日広報街頭指導の日  
9/25(火) 通学路安全確保の日  
9/30(日) 交通事故死ゼロを目指す日

ご自宅まで送迎します。  
普通・中型・大型・大特自動二輪(普通・大型)・けん引免許  
公認 **昭和自動車学校**  
富士市比奈かぐや姫2220-1 TEL38-0110

富士ニュースご購読 お申し込みのご案内  
お申し込みは右記新聞販売店へお電話をお願いいたします。  
1ヵ月 927円 1部 60円 本社 富士市今泉1-15-14 TEL.(0545)52-0551(代) FAX.(0545)51-0507

吉原 植草新聞店 ☎0545-52-0370	富士 田畑新聞店 ☎0545-61-0011	鷹岡 安倍新聞店 ☎0545-71-3327	富士宮 中野新聞舗 ☎0544-23-3333	富士川 石井新聞店 ☎0545-81-1333
星野新聞堂 ☎0545-52-0376	星野新聞堂 ☎0545-61-0275	望月新聞店 ☎0545-71-2647	南部SHC ☎0544-26-2543	佐野新聞販売所 ☎0545-85-2093
鈴木新聞店 ☎0545-52-5503	雨森新聞舗 ☎0545-61-5049	鷹岡SHC ☎0545-71-8156	鈴木新聞店 ☎0544-26-3285	遠藤新聞舗 沼津西部支店 ☎055-969-2088
			勝亦新聞店 ☎0544-26-1100	沼津西部 村越新聞店 ☎055-966-1313
			中西新聞店 ☎0544-28-1133	きむら新聞店 ☎055-968-8606